

鮭川村



清水希容子

一般財団法人日本経済研究所 地域未来研究センター 研究主幹

2メートルは積もる最上地域の雪深い冬が終わりに、裏庭の林にコブシや山桜、カタクリの花が咲き乱れる頃、小学校の運動会に家族総出で出かけるのが習わしだ。おじいさん、おばあさん、若夫婦に子供たちの三世代に奥さんの両親……大勢でグラウンドにシートを敷いて、わいわいと楽しそうにご馳走を囲む。

農山村では生涯を元気に過ごす人が多い。年齢に応じた活躍の場があるからだ。高齢になっても、枯れ草のそうじ、なめこの収穫、山菜の処理など……家や田畑や林を守るため、力仕事は機械化も進み若夫婦に譲るが、あらゆる仕事がある。

忙しいと嫁姑問題も少なくなり、つらいときは、あうんの呼吸で家族全員が協力し合う。若夫婦が勤めで日中いないときは、子供たちと一緒に田んぼに出たり、もぎりみず汁の料理をつくったり、伝統の鮭川歌舞伎の文化を伝授する。子供たちも小さい時から、それらを自然と身につける。

舞台は鮭川村。山形県北東部、最上地域に位置する人口4,800人の農山村。奥羽山脈の支脈と出羽山地に囲まれた盆地で、村中央を南北に、鮭が溯上する“鮭川”が流れる。

東京から東北・山形新幹線に乗り、福島から山形方面に入ると列車はスピードをおとし、溪谷やさくらんぼ畑を眺め、新庄駅まで3時間、そこから車で僅か10分である。

村に入ると、河岸段丘に豊かな田んぼ、遠くに鳥海山、月山をのぞみ、集落が点在する。山の水が豊かで村内を曲川が蛇行し、縄文時代から“楯”と呼ばれる場所に人々が生活していた。今も山の神・里の神の祀りなどの行事が生活に溶け込む。

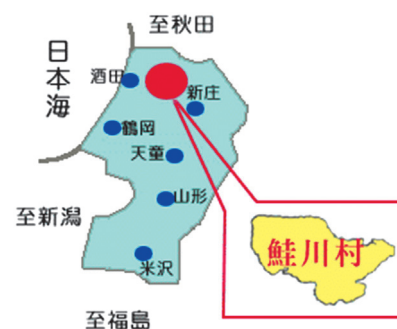
近年、稲作の他に、ハウスきのこ、食用ほおずき、薔薇が産業化し、東日本随一の灯ろう流し、羽根沢温泉やキャンプ場、トトロの形をした杉や桂の巨木、ザゼンソウやギフチョウに会える米湿原に観光客が訪れる。

村に住む人々は広い土地と家を有し、平屋の一つ屋根の下、大家族で暮らすことが多い。国勢調査で三世帯世帯の割合をみると、鮭川村が全世界帯(1,276世帯)の43%と日本一(右表参照)。四世代世帯も約50世帯ある。三世帯世帯の割合は、隣接する金山町や戸沢村や真室川町など山形県最上地域の町村が上位を占める。

これらの農山村は、社会構造の変化等で人口減少が続き、高齢化率が高い。介護など村の財政が心配されるなか、元気なおじいさん、おばあさんが多く、子供たちに知恵と文化を伝えている。

市川冠十郎事 鮭川村産業振興課主任の山科裕一氏は、地元に戻り、若手の役場職員として地域づくりに奔走しながら、6月の鮭川歌舞伎公演に向けて、一か月前から每晚稽古にはげむ。「大家族が多いのはここでは当たり前。それが楽しいし有効なのだと思う」と語る。

元気な三世帯世帯の存在が、村の明るい未来につながっている。



町のあり様について、由布院温泉の中谷健太郎氏は語りました。

小さいから、身近に暖かい関係が生まれる。
 小さいから、個性的な価値を生み出せる。
 小さいから、大きな資本を必要としない。



鮭川

三世代世帯の多いまち

順位	三世代世帯数 ／全世帯数 (%)	市町村	(持ち家面積) 150㎡以上の 世帯数／全世 帯数 (%)	(将来人口)	
				2010年→2040年 予測 (千人)	減少幅 (千人)
1	43	鮭川村 山形 (最上)	60	4.9 → 2.6	▲2.3
2	41	金山町 山形 (最上)	65	6.4 → 3.8	▲2.6
3	41	色麻町 宮城	56	7.4 → 5.1	▲2.3
4	39	戸沢村 山形 (最上)	56	5.3 → 2.8	▲2.5
5	38	天栄村 福島	46	-	-
6	38	湯川村 福島	62	-	-
7	37	川西町 山形	58	17.3 → 10.1	▲7.2
8	36	舟形町 山形 (最上)	60	6.2 → 3.7	▲2.5
9	36	大瀧村 秋田	72	3.2 → 2.9	▲0.3
10	36	大蔵村 山形 (最上)	61	3.8 → 2.0	▲1.8
11	36	大石田町 山形	65	8.2 → 4.7	▲3.5
12	35	飯豊町 山形	63	7.9 → 4.9	▲3.0
13	35	美郷町 秋田	64	21.7 → 13.4	▲8.3
14	35	最上町 山形 (最上)	58	9.8 → 5.7	▲4.1
15	35	大郷町 宮城	52	8.9 → 6.0	▲3.9
16	34	真室川町 山形 (最上)	59	9.2 → 5.0	▲4.2
17	34	尾花沢市 山形	65	19.0 → 10.8	▲8.2
18	34	大玉村 福島	42	-	-
19	34	玉川村 福島	45	-	-
20	34	庄内町 山形	63	23.2 → 14.5	▲8.7
	7	全国	21	12,806万人 → 10,728万人	▲2,078万人

* 三世代世帯：全世帯（一般世帯数）に占める三世代世帯の割合、全市町村における順位
 （資料）総務省「国勢調査」（2010年）

* 持ち家面積：全世帯（一般世帯数のうち持ち家）に占める延べ面積150㎡以上世帯の割合
 （資料）総務省「国勢調査」（2010年）

* 将来人口：国立社会保障・人口問題研究所による推計

（資料）国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」
 国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計（平成24年1月推計）」